

はぼろ

議会だより

ピツシリ

第131号

2025



2.13

定例会、臨時会 2

一般質問（3名）..... 3～5

道外視察研修 6

文教厚生常任委員会 7

総務産業常任委員会 8

『羽幌少年スキー学校』

羽幌町民スキー場「びゅー」にて

1月5日撮影



●発行／北海道羽幌町議会 ●編集／広報広聴常任委員会

〒078-4198 北海道苫前郡羽幌町南町1番地の1 TEL (0164) 68-7011 FAX (0164) 62-1278



令和6年 第8回定例会

本議会は令和6年12月12日から13日までの2日間の会期で開かれた。今回は報告1件、一般議案9件(条例改正4件、補正予算案5件)、同意1件、発議3件、意見案1件が審査され、提案どおり可決された。
一般質問は3名(4件)であった。

天売複合施設建設に関する予算案 関連予算案 (建設費増・工期延長) 全会一致で可決

●「羽幌町営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例」は、土地改良法の一部改正に伴い、本条例における引用規定の整備を行うほか、賦課徴収等に関する規定の整備を行うため全部改正。

●「乳幼児等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例」は、乳幼児医療の給付対象費用に訪問看護を利用した際に加算される基本利用料を含めるため、条例の一部を改正。

《主な改正内容》



●「羽幌町布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例」は、水道法施行令及び水道法施行規則の一部改正に伴い、布設工事監督者及び水道技術管理者の資格並びに資格の緩和が適用される対象が改正されたため、条例の一部を改正。

《主な補正内容》



- ・情報管理業務経費 101万円
- ・まちづくり応援寄付金推進事業 7805万円
- ・児童手当給付事業 952万円
- ・乳幼児等医療費給付拡大事業 191万円
- ・新型コロナウイルスワクチン接種事業 883万円
- ・企業振興促進事業 329万円
- ・街路灯管理事業 14万円
- ・羽幌小学校施設管理事業 20万円
- ※修繕料

・天売複合施設建設事業継続費・地方債補正の変更



●羽幌町教育委員会委員の任命
現委員の松田肇氏を再任



●安全・安心の医療・介護実現のための人員増と処遇改善を求める意見書【全員賛成】



(11月29日開催)
令和6年 第7回臨時会

■一般会計補正予算
《補正の内容》

- ・農業用施設災害復旧工事請負費 5969万円
- ・公共土木施設災害復旧工事請負費 5億4873万円

阿部 和也 議員



問

特定空家等の対応は

答

条例及び規則を新たに制定



一般質問
動画配信



事務管理で対応している商業ビル

空き家の実態調査

問 現在の空き家の件数は何件か。

答 現在の空き家の件数は186軒と把握しているが、現在新たな空き家の確認と把握済みの空き家の現状確認を目的として実態調査を進めており、今後の内容精査により件数は増加する見通し。

問 担当職員の数も限られていることから、改めて各町内会や企業・団体等との連携を強化し、空き家の実態調査を行うべきと思うが。

答 今後の実態調査について、担当職員の数も限られていることから、改めて各町内会や企業・団体等との連携を強化し、空き家の実態調査を行うべきと思うが。

いては空き家の使用実態を把握するために必要があれば周辺の住民や町内会等にも協力をお願いし、調査を進めたいと考えている。

所有者への助言・指導 国では令和5年12月に空家等対策の特別措置法の一部が改正され、所有者の責務が強化された。空き店舗や倉庫なども含めた、空き家等の所有者に対して適切な管理を依頼した件数と、事務管理による緊急対応工事事件数及び工事金額のこれまでの合計はどのくらいか。

問 特定空家と管理不全空家の所有者に対して、法改正前と現在において指導等に変化はあったか。

答 現時点で町がこれらに判定している建物は無いが、今後において近隣住民の生活環境に重大な影響を及ぼすおそれのある建物の所有者には助言、指導を行う。従ってただけない場合には是正を勧告するなど、一歩踏み込んだ措置を行えるよう前述の実態調査を踏まえ要件、基準に合致する建物がある場合は特定空家または管理不全空家とし

て判定、整理したいと考えている。また、これら本町の空き家等対策を総合的に推進するため、空き家の所有者等の責務はもとより、法に基づく協議会の設置、空き家の状態の悪化により周辺に危険が及ぶことを避けるべく、町が緊急的に必要最小限の措置を行うための根拠や手続等を盛り込んだ条例及び規則を新たに制定し、良好な生活環境の保全と安心、安全なまちづくりに努めていく。

問 残置物処分などへの補助の有無が登録の支障となっている例は現在のところないが、他自治体の制度を参考にしつつ町内物件の実情に合った有効な取組を検討していきたいと考えている。

空家バンクの促進 空家バンクの登録を促すため、空き家の残置物処分、ハウスクリーニング、不動産登記、現地調査に係る費用の一部補助などを行っている自治体もあるが、羽幌町も新たな取組等を考えてみてはどうか。

空家バンクの促進 空家バンクの登録を促すため、空き家の残置物処分、ハウスクリーニング、不動産登記、現地調査に係る費用の一部補助などを行っている自治体もあるが、羽幌町も新たな取組等を考えてみてはどうか。

トップ > 福祉・民生 > 空家バンク

空家バンク

羽幌町では、町内にある空き家等の情報を、住宅を探している方へ提供することにより、空き家等を有効に活用した町内への移住や定住促進を目的に、空家バンク制度を創設しました。

空家バンクに登録された「空家」は、随時このホームページで公開していきます。

空家情報

登録物件一覧

↑↑クリックで登録物件が確認できます。

空家バンクとは？

目的

空家バンクは町ホームページ内から



一般質問
動画配信

問

灯油高における暖房費支援を

答

国の交付金など注視し検討を開始



金木 直文 議員

灯油等購入費の助成

問 冬本番を迎えた今、暖房のための灯油の使用料も増えつつあり、この冬もまた灯油代に幾らかかるのか心配する声が聞かれる。

答 今年度、定額減税と低所得世帯への支援給付金の支給がされているが、北海道の冬に向けての暖房費支援は別立てで考えるべきではないか。羽幌町では低所得世帯への福祉灯油の支給も行われているが、対象世帯の要件が厳しく、件数が少ない。福祉灯油給付事業の現状と見直しについてどう考えているのか。

答 福祉灯油給付事業は、生活環境が厳しい冬期間における、低所得世帯や高齢者世帯への支援事業であり、町からは補助金を交付し生活支援を行っている。社会福祉協議会では、給付事業の基準を下回る世帯に対し、福祉灯油と併せ、共同募金を財源として義援金事業を実施している。

事業の見直しについて

は、歳末たすけあい募金等配分委員会、収入基準額や配分基準など、随時協議し進めており、昨年度には収入基準額を引き上げ、対象世帯の見直しを進めている。

全世帯への支援は

問 全世帯への何らかの助成を考えられないか。

答 現在の厳しい経済状況など、生活支援を要する世帯が増加していることは認識しているが、全世帯を対象とする支援には、財源等の課題もあり早急な対応は難しい。



灯油ホームタンクに補充する配達事業者

今後とも国の交付金など活用できる支援事業など注視しつつ、福祉施策全体を踏まえた上で、必要性や緊急性を考慮し、適切に対応していきたい。

国からの交付金

問 現在、臨時国会で審議されている補正予算に重点支援地方交付金が盛り込まれている。この活用に向けての検討は。

答 全庁的に事業案の検討を開始し、年内にも内容を固め、議会にも説明しながら進めたいと考えている。

高齢者等の

ゴミ出し支援

問 高齢者等のゴミ出し支援について環境省の調査では、令和3年1月現在34・8%の自治体で高齢者ゴミ出し支援の導入があると報告されている。足腰が弱り、腕の力もなくなったり、認知症の傾向も見られるような高齢者等のゴミ出しの実態や要望をつかみ、支援を検討すべきと考えるがどうか。

答 日々のゴミ出しが困難な方のうち、介護サ-



ゴミステーションへのゴミ出し

ビスにおけるヘルパーの派遣を受けている方はヘルパーが対応している。状況によっては、ゴミステーション位置を高齢者宅の近くに移動する、近隣の町内会が管理するゴミステーションへの搬入を承諾していただく、町内会でゴミ出し支援を行うなど、地域の皆さまのご協力により、深刻な問題とはならない状況である。今後の状況を注視していく中で、ゴミ出し支援制度等の検討をしていきたいと考えている。

小寺 光一 議員



問

人口減少による影響は



一般質問
動画配信

答

地域経済の縮小を招く可能性

人口減少が産業と行政に与える影響

問 人口減少が町内産業と行政に与える影響は。

答 生産年齢人口の減少に伴う担い手不足により事業継続や技術継承が困難となり、地域経済の縮小を招く可能性が懸念され、また、行政サービスの縮小・再編、公共施設の統廃合、道路・上下水道等のインフラを維持するための効率性が大幅に低下するといった影響が考えられる。

若年層の定着を促進するための具体策は

問 若年層の定着を図るための施策の現状は。

答 漁業の担い手支援事業では自立経営や資格取得などを合わせて7件の助成、助産師看護師修学資金の貸付事業では医療機関に就職した方は7人、現在、貸付を受け修学中の方は3人、保育士等修学資金の貸付事業は今年度から貸付額など内容の拡充を図った。

多くの求人募集が（ハローワーク求人情報）

人材確保が必要とされる分野の取組みは

問 将来的な除排雪従事者の確保の課題と人材育成についての取組みは。

答 随時、委託先との意見交換等を踏まえ業務体制を構築しており、今後この体制を継続していきたいと考えている。従事者確保の一環として、運転環境や作業効率の向上を目的とした設備の導入を検討するなど、委託先と情報共有を図りつつ、町としてできる必要な取組を進めていく。



羽幌町市街地区学校給食センター

問 給食センターの現状と今後の安定的な運営を行うための取組みは。

答 調理業務に必要な人員は、1日当たり調理員5名、調理補助員2名だが、現在の人員ではシフトの調整がつかない日も多く、体制としては非常に厳しい状況である。当面は調理員を2名増員することが必要であり、広報誌やホームページ、ハローワーク等を活用した人員確保に向けた取組みを継続し、使用する設備や備品類の計画的な更新を行い、職員の負担軽減

を図り、環境整備を進めていきたいと考えている。

問 消防・救急搬送の担い手確保に向けた支援策は。

答 北留消防組合は、本町とは異なる特別地方公共団体であり、職員の確保には関与すべきではないが、その職務性に鑑み、職員募集のホームページの掲載や採用者の居住場所確保のため、職員住宅の入居について承諾。今後も現状の支援を継続し必要な支援があれば検討する。

問 行政も民間事業者も人材雇用の課題が一番大きい。ぜひ動いてくれる人を増やす施策をブラッシュアップし続けて、多くの人に羽幌で働いて頂きたいと思うがどうか。

答 羽幌町の人口減少における、人材雇用の確保は非常に重大な問題。人口減少を少しでも食い止めることは最も大事な命題の一つとして考えている。役場全体、そして議会も含めて真正面から今後取組む課題だと思っている。

道外行政視察報告

(文教厚生常任委員会)

10月28日から11月1日までの日程で、岡山県岡山市、鳥取県日吉津村、島根県出雲市を訪ね、県立図書館、複合型子育て拠点施設、空き家対策について視察・調査を行いました。

全国トップクラスの

入館者数

岡山県岡山市

岡山県立図書館は、平成16年に開館し、令和6年に開館20周年を迎えた。令和5年の入館者数は約80万人と、全国平均の約32万人を大きく上回っている。施設規模は地上4階、地下1階で、図書収蔵能力は230万冊。また、有料貸出施設として、多目的ホール、デジタル情報シアター、メディア工房、サークル活動室が設置されている。

《視察目的》

・図書館の運営方法やサービス向上に関する知見を深める。

・地域連携の取り組みやデジタル化の進展について学び、羽幌町の図書館サービスの向上に役立てる。

・図書館の先進的な取り組みを視察し、町民へのサービス提供の質を高めるための具体的なアイデアを得るため。



岡山県立図書館

子どもたちの育ちに

継続して寄り添う

鳥取県日吉津村

日吉津村は鳥取県唯一の村であり、人口は約3600人。企業誘致などにより、若年層の移住者も多く、平成7年から毎年人口が増加している。

ミライトひえづ

ひえづこども園、子育て支援センター、ファミリーサポートセンター、児童館、民族資料館の機能を併せ持ち、村のミラ(未来)を担う子どもたちの確かな「育ち」を幼児教育・学校教育・家庭教育が連携してしっかり支え、日吉津村の豊かな資源や人をイト(糸)のように紡いでいく、複合型子育て拠点施設として令和4年9月にオープン。

《視察目的》

・複合型子育て拠点施設「ミライトひえづ」の運営方法やサービス向上に関する知見を深める。

・地域全体の子育て支援を学び、羽幌町の子育て支援施策に役立てる。



ミライトひえづ
子育て支援センター内

官民一体となった

空き家対策

島根県出雲市

出雲市では、令和4年度から令和8年度の計画期間として、第2期出雲市空家等対策計画を実施している。

【基本方針】

(1)個人財産の所有者責任を前提
(2)総合的かつ計画的な推進
(3)市民及び事業者等との協働
(4)利活用は民間主体が基本

【基本目標】

(1)実効性のある空家等対策
(2)民間活力を活かした空家等対策
(3)次世代に活かす空家等対策

【推進体制】

(1)総合窓口
(2)民間団体等の周知、協力、活動支援
(3)出雲市空家等対策連絡会議
(4)出雲市空家等対策協議会
(5)出雲市空き家関係団体連絡会(仮称)

また、市内には空き家の管理、発生意防、相談などに取り組んでいる民間団体が3団体ある。

【民間団体が行う主な事業】

・空き家安心サポート事業
※委託事業

・地・学連携による空き家活用プロジェクト事業

※県立大学学生用シェアハウス改修事業
・各種空き家における具体的な相談受付・対応



出雲市職員より説明を受ける

《視察目的》

・出雲市では、「空家の発生意防」、「空家の適正管理の促進」、「空家の利活用の促進」、「管理不全な空家等の対応・除却」の4つを柱に、官民一体となった効果的な対策を実施しており、羽幌町における空き家対策の具体的なアイデアを得るため。

文教厚生常任委員会

公園の集約化

(10月16日開催)

◆公園管理事業及び 児童遊園地管理事業

1 公園管理事業

おろちゃんランドについて、現地視察の後説明を受けた。町内で唯一複合遊具を設置する公園であり、年に一度劣化点検業務を委託し、緊急度の高いものから計画的に修繕等



今年度設置の遊具

を行っていること。また、レストパークはぼろについては、平成2年に開園したが、老朽化により令和5年にトイレを閉鎖、草刈りや危険、不要な立木の伐採など必要最低限の維持管理を行っているとの説明であった。

2 児童遊園地管理事業

児童遊園地は、地域の児童の健全育成を図る目的で地域の方々と行政が協働により設置、草刈りなどの維持管理は原則として町内会等が行っているほか、町内会等からの要請を受けて随時老朽化した遊具の撤去を行っている。撤去後は遊具の管理面から、おろちゃんランドに集約、児童遊園地には修繕可能なものは修繕し、新規設置しない方針。

《主な質疑》

【質問】長もちさせるために、冬期間ブルーシートで囲う考えは。

【回答】今回新しく設置した遊具はパネル部分が横にあり、業者からアドバイスがあったので、できる限り対応したい。

快適な住環境へ

◆住宅改修促進補助事業

快適で良好な住環境の整備、町並み景観の向上などを図る目的で令和6年度から3年間の時限措置により再開となった当事業の説明を受けた。

《主な質疑》

【質問】進捗状況の確認は行っているのか。

【回答】9月の段階でまだ着手していない、着手届も出されていないところについては、1社ずつ全て進捗状況の確認を取っている。

【質問】受付期間の見直しなど、使い勝手のいいようにできないか。

【回答】一定期間随時受付とすることで、業者も無理のないような受注をするのではないかと考えている。

譲渡の申し出

(11月14日開催)

◆旧加藤病院の取得

旧加藤病院を運営していた法人より有効活用できるなら無償譲渡したいとの申し出があり、町としてすこやか健康センター事務所の狭隘化解消や老朽化している勤労青少年ホームの代替施設として、また無償譲渡であることは、改修費を要するものの、新たな施設建設には相当な費用が必要なことから、取得に向けて作業を進めたい旨説明があった。



取得を検討している建物

《主な質疑》

【質問】勤労青少年ホームの代替施設として入居団体は了承してくれたということだが、家賃体系は燃料代全部を含めて、そういう話し合いは。

【回答】詳細な話し合いは行っていないが、現状では条件の変更は考えていない。

医療体制の充実へ

(12月4日開催)

◆診療看護師の研究資金

医師の作成した手順書に基づき、一定範囲の医療行為ができる診療看護師について、

現行の医師研究資金貸与条例に即した制度を制定することで、羽幌町全体の医療確保対策につながる道立羽幌病院より要望があり、医療対策の一環として、貸与額を医師に對する額の半額にすることで条例制定の検討に入った旨説明を受けた。

建設費の大幅増

◆天売複合施設

天売複合施設について、当初、生コンクリートを運搬して打設する方法を想定していたが、応札業者がなかったため、基礎工事を事前にコンクリート部材を作成し、現場で組み立てをする「プレキャスト工法」へ変更するほか工期延長を想定した中で改めて積算をした結果、約6億7500万円の増額となる旨の説明を受けた。

《主な質疑》

【質問】複合施設は補助金とかないのかなと思うが、全額起債か。

【回答】計画当初から財源を探しながら検討していたが、現時点では補助金等はなく、全額起債で考えている。

【質問】建設費が当初の倍以上になっているが、過疎債は該当するのか。

【回答】令和6年度において過疎債は総合管理計画の枠に入っている天売複合施設分は全額該当だが、その他の一般分は2割程カットされている。

明を受けた。

農地の早期復旧

(11月15日開催)

◆災害復旧事業

令和6年8月に発生した大雨の被害に対する災害復旧事業の工事内容について、担当課より説明を受けた。

災害復旧工事を行う地域

- ・河川災害復旧工事
- ・朝日地区二股沢川8力所
- ・平・上羽幌地区二十二線沢川2力所
- ・平地区計那詩川2力所
- ・道路災害復旧工事
- ・朝日地区二股幹線2力所
- ・橋梁災害復旧工事
- ・朝日地区二股幹線第二二股橋

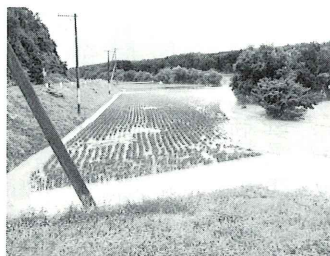
災害復旧工事の方法

- ・河川災害工事
- ・連節ブロック等を使用した護岸整備
- ・道路災害工事
- ・盛土や護岸整備
- ・橋梁災害工事

崩壊箇所の原型復旧など被災状況に鑑み、災害査定を踏まえての工事を予定している。

査定申請工事費

復旧工事費合計で4億9152万円となり、財源については国の補助金80%を活用し、残額は起債を充当し起債にかかる交付税措置は95%を予定している。



豪雨災害が発生した農地

農地災害復旧工事地域

- ・平地区1力所
 - ・上築地区2力所
 - ・曙地区2力所
 - ・朝日地区5力所
- 農地災害復旧査定工事費
・合計5427万円

《主な質疑》

【質問】復旧工事は令和7年の作付け時期までに完了するのか。

【回答】基本的に作付けに間に合うように工事の発注をかけていくが、あとは発注を受ける事業者との絡みもあるの

で、今の段階で断言はできない。当初の段階から農業者の方には国の補助事業として復旧事業を進める際に合わせて説明し、理解をいただいている。当課としては作付けに間に合う形で進めていきたいが、工事の状況によっては間に合わないこともあり得ることは了承いただきたい。

冬道の安全確保

◆令和6年度除排雪業務

除排雪業務の内容について担当課より説明を受けた。

除排雪業務の契約

- ・契約期間
令和6年12月1日から令和7年3月31日まで
- ・契約形態 随意契約
- ・予算現額
1億5317万円（前年実績1億7054万円）

除排雪業務の概要

- ・除雪延長128.9km（車道113.9km、歩道15.0km）
- ・実施方法
(1)市街地区・原野地区
羽幌町道路環境事業協同組合に委託
- (2)離島地区

従来からの業者に委託



除排雪作業

《主な質疑》

【質問】朝の除雪が終わった後にまとまった雪が降った時や、暖気の日には道が緩んで車の走行が困難になる。このようなときは町民が安全に走行できるように、日中でもその状況に合わせた除雪体制をとれないか。

【回答】早朝以降の降雪が多いときは、状況を踏まえて対応していきたいと思っている。また、暖気の日には路面が緩むので、細かくパトロールするなど現場との連携を密にしながらか対応していきたい。

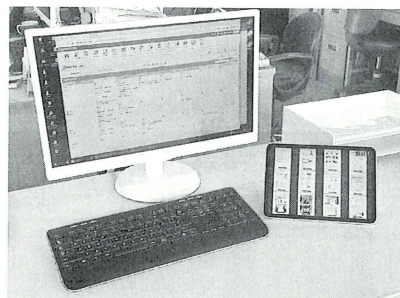
【質問】観光ルートであるフェリーに向かう通りや、はばろ温泉前の通り、スクールゾーンとなる小中学校前の通りなどは重点的に的確な除雪をしてほしい。

デジタル化を推進

◆デジタル推進課の事業

【補正予算の概要】

- ・窓口キャッシュレスの導入
- 12月議会に提出予定の補正内容として手数料1万3千円の追加補正。



デジタルシステムを活用

【その他導入システム】

- ・電子契約システム導入
- 最大のメリットとしては、契約に印紙がいらないこと。